

12 自然の浄化センター

しおかわひがた
汐川干潟



ひがた
干潟のかんさつ



しおかわひがた ざおうさん
汐川干潟と蔵王山

豊橋・田原の汐川干潟は渡り鳥で有名ですが、水をきれいにする役割からも大切な環境です。

干潟は河口ちかくにできる浅い海で、潮が干くと砂地が見えるようになります。ここは、海と川と土と空気が出会う特別な場所で、微生物や貝などの小さな生き物がいっぱい住んでいます。小さな生き物たちは、潮の満ち引きや、川の流れにより干潟に運ばれて来た栄養分（汚れ）を、食べたり分解したりすることで、汚れを取り除いています。

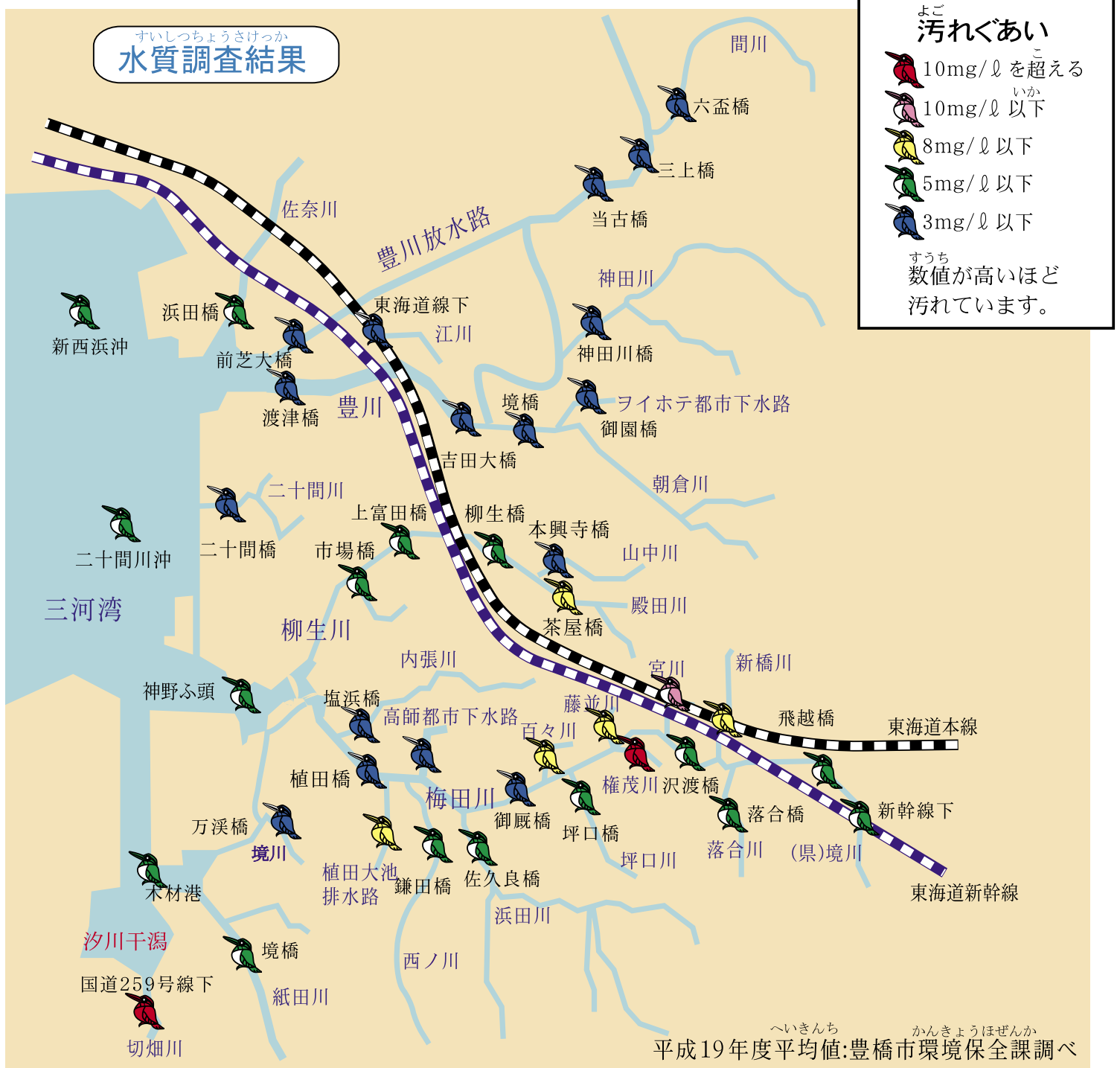
さらに、干潟を訪れる魚や鳥たちがこれらの生き物を食べることで、栄養分（汚れ）は干潟の外へ運び出されます。このように干潟は、下水しより場（浄化センター）と同じように水をきれいにする働きをしています。自然の力ってすごいですね。



オオソリハシギ

13 海や川の汚れぐあい

社会や経済の発展とともに海や川の汚れが目立つようになりました。
わたしたちが生活していくということは、環境に負担をかけていくこと
なのです。



ビーオーディ
BOD…川の水の汚れが微生物の働きで分解されるときに消費する酸素の量。数値が高いほど汚れています。

シーオーディ
COD…海の水の汚れを薬品で分解するとき消費する酸素の量。数値が高いほど汚れています。